

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.3

開催地：球磨村渡地区

平成 19 年 5 月 21 日（月）、球磨村渡地区において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。渡地区多目的集会施設にて開催された同報告会には、約 80 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

村内	71 名
村外	5 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上流の市町村に遊水地を造り、しばらくの間洪水を溜めることで、洪水をゆっくりと流すことはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊水地など具体的な施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討することになるため、いただいたご意見は、検討の参考にさせていただきます。 仮に、現時点で遊水地を計画した場合、広大な面積の土地が必要となると思われることから、土地の所有者、特に農家の方々に与える影響は非常に大きいのではないかと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 渡地区では昭和 40 年頃から水害が多発するようになったが、上流に堤防を作り、遊水地を無くしてきたからではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 渡地区で水害が頻発していることに対して、河川管理者として申し訳なく思っています。 渡地区の内水対策については、村長、村議会からも要望を受けております。 報告会后、村と国で浸水箇所の現地調査を実施しましたが、今後、具体的な内水対策について検討を行っていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 河川整備方針が示されたが、これからの整備にどのくらいの時間がかかるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 治水対策が遅れていることにつきましては、大変申し訳ありません。 出来るだけ早く河川整備計画を策定し、治水対策を一層推進できるような努力していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 現在は消防用ポンプを持ち出して対応している状況。内水被害対策を何とか進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 渡地区で水害が頻発していることに対して、河川管理者として申し訳なく思っております。 渡地区の内水対策については、球磨村長、球磨村議会からも要望を受けているところです。 報告会后、村と国で浸水箇所の現地調査を実施しましたが、今後、具体的な内水対策について検討を行っていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> JR 相良橋付近の工事で川幅が十数メートル狭くなった。人吉地区と同じコンクリート製の堤防にしてほしいと要望したが、なぜ土堤となったのか。球磨川も見えなくなってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該地区は堤防の厚みが不足しているため堤防の脚部から水が漏れ、危険な状態であったことから、災害復旧工事により堤防に必要な厚みの確保を行ったものです。 なお、地元からのご意見も受けて、堤防の線形については見直しを行ったところであり、また、前面にコンクリートのブロックを張り、水が入らないような対策をとっているところです。

・洪水後、小川に堆積した土砂は県に撤去してもらったが、球磨川合流点付近に堤防の一段目まで溜まっている土砂は撤去してもらえないのか。

・球磨村にもダム放流にかかる防災警報機を付けて欲しい。他の市町村には全て警報機が付いている。

・小川について、堤防の高さが上がると聞いているが、鉄橋が上がるとは聞いていない。この地区は鉄橋の箇所から水がくる。

・洪水を遊水させるのは治水手法の一つだが、渡地区がまさにその遊水地のような状況になってしまっている。内水対策を進めてもらいたい。

【その他】

・3月まで実施していた相良橋付近の工事について、工事の青写

・報告会後にご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。今後、堆積箇所の調査を行い、土砂撤去の必要性について検討していきます。

【熊本県回答】

・市房ダムの放水情報については、現在市房ダム管理所から球磨村役場までは知らせております。今後どのようにしたら効率的に伝わるか研究中であり、しばらく時間をいただきたいと回答しております。

ダムのサイレンや広報車による警報は、ダムの放流に伴う河川水位の上昇による河道内の事故防止を目的としています。人吉地点の下流にある球磨村においては、ダム放流水による球磨川の水位への影響は小さいことから、ダムのサイレンや広報車による警報は行っておりません。

なお、情報提供については、現在は、以下のとおり情報を伝えています。

市房ダムの放流に関する通知については、市房ダムから下流の人吉市までサイレン及び広報車による警報や放送を行ってまいります。また、球磨村、芦北町まで防災FAXにて市房ダム下流沿川の市町村へ情報を提供しています。電話での情報提供として自動応答のシステムを運用しており、ここに電話していただくと、直近の貯水位・流入量・放流量及び市房ダム上流の時間雨量を音声で聞くことができます。なお、データは10分単位で更新されています。また、携帯端末からも熊本県統合型防災情報システムに市房ダムの洪水調節情報をアップし、本年度かどなたでも閲覧できるようにしています。

【熊本県回答】

・小川は、洪水時に国道より上流の村道橋の箇所から浸水を始めるため、まずはこの上流区間の事業に平成18年度から着手しております。

鉄橋を含む国道より下流についても、対策が必要であると思いますので、上流部の事業に併せて、その検討及び関係機関との協議を進めて参ります。

・渡地区で水害が頻発していることに対して、河川管理者として申し訳なく思っております。

渡地区の内水対策については、球磨村長、球磨村議会からも要望を受けているところです。

報告会後、村と国で浸水箇所の現地調査を実施しましたが、今後、具体的な内水対策について検討を行っていきたいと考えています。

・ご指摘の工事については、工事着手前に地元の方々への説明会

真ができてから工事の説明に来た。なぜ、事前に説明にこなかったのか。(工事の青写真が出来上がってからでなく、事前に説明にきてほしい)

を開催させていただいたところですが、その時期が遅くなったことについては、申し訳なく思っております。今後の工事では、できるだけ早期の段階にご説明できるよう努めていきます。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。